

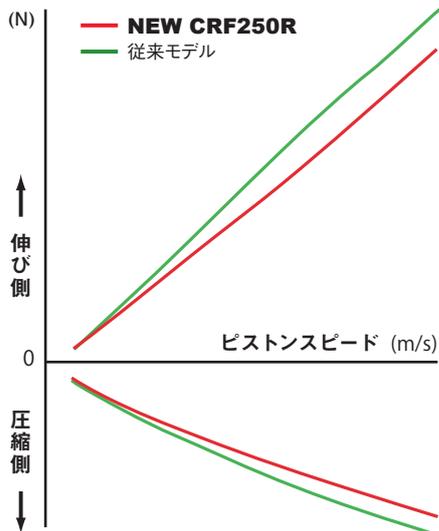
●リアクション

低重心化による車体の左右倒し込み時の軽快感と、ギャップ通過時などのピッチング低減を実現するため、リアクションの全長を従来よりも14.5mm短縮し、より車体の低い位置に取り付け低重心化を図りました。

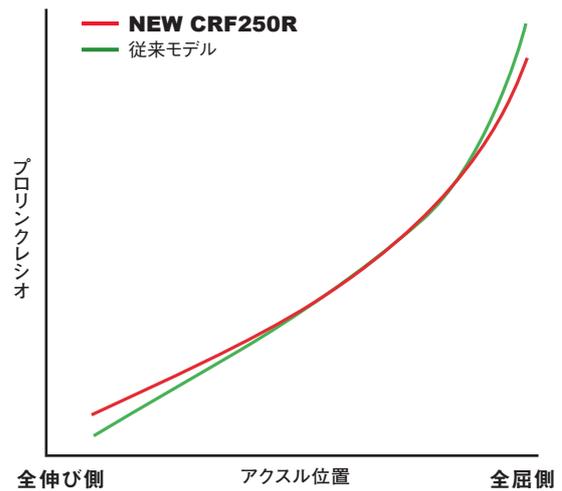
刷新された車体にマッチングさせるべく減衰力特性を見直し、伸圧減衰力を下げることで、より乗り心地を向上させながらギャップの吸収性を確保し、トラクションの向上を達成しました。

また、プロリンクのレシオをよりフラットにすることにより、ストローク全域にわたり乗り心地を向上させました。

■リアクション減衰力特性比較イメージ



■プロリンクレシオ比較イメージ



■リアクション全長比較

